

令和4年度文化祭 校長挨拶

いよいよ、令和4年度第52回文化祭、テーマ「燎」が始まります。今年度は、前夜祭の開催、模擬店の出店が可能になるなど、皆さんにとってより一層心に残る楽しい文化祭にしたいという思いで、生徒会の皆さんが中心となって企画運営、準備をしてきてくれました。本当にありがとうございます。文化部の皆さん始め、文化委員を中心としたクラス学年で創意工夫を凝らし、協力して準備を進めている姿を見て、とても嬉しく思っています。

本校は、今年度より目指す教育活動の一つとして、地域連携を進めています。このあとの盲学校の生徒さんによる和太鼓の演奏はとても楽しみな企画です。よろしくお祈りします。その準備を進める中で嬉しい話を耳にしました。盲学校のステージ練習の時に、本校生徒会が、盲学校の生徒さんがつまずいたりこけたりすることのないよう、シートを平らにし直すなど、優しい配慮を率先して行ってくれたということです。今回のような演奏による地域交流を通して、様々な人や社会と交流することの意味は、正にここにあると言えるでしょう。

今できることをポジティブに捉え主体的に考え行動する、自分の役割を果たす、他の人との意見の違いに気づく、そして協働して一つのものを作り上げていく。文化祭という行事ならではのこの過程で、皆さん一人ひとりが、経験したこと、感じたこと、学んだこと、成長したことは何でしょうか？前夜祭、そして文化祭が終わった後に振り返り、ぜひこれからの学校生活に活かしていただくください。

文化祭に参加する意味は、自分が表現する、創り上げることと同様に、他の人の作品や表現を受け止めて、共感することでもあります。そのような捉え方をしながら、ステージ発表や展示、模擬店を十分に楽しみましょう。今年のテーマ「燎」を考案してくれた人は、その意味を「たえまなく燃えるかがり火のように、まわりを明るく照らす情景」と、心豊かに表現してくれました。この素晴らしいテーマのように、「一人ひとりの心のかがり火が、まわりを明るく照らし、お互いに支え合い助け合う」、皆さんにとっての摩耶兵庫高校が、そのような平和で温かい居場所となることを心から願ひ、私の挨拶とします。